

# 京都市市民憲章推進者表彰

(活動別・順不同)

## 個人

### ●美化活動

- 駒井 秀彦 さん (山階学区)
- 仁科 良江 さん (鏡山学区)

### ●安心・安全なまちづくり活動

- 佐藤 英子 さん (勸修学区)
- 林 弘 さん (勸修学区)
- 遠藤 健 さん (山階学区)
- 岸田 忠信 さん (陵ヶ岡学区)
- 安澤 信雄 さん (陵ヶ岡学区)
- 谷口 輝雄 さん (大宅学区)

### ●福祉活動

- 村松 美恵子さん (勸修学区)
- 石田 清 さん (音羽学区)
- 久岡 益行 さん (陵ヶ岡学区)
- 宮本 洋子 さん (山階南学区)

### ●スポーツ活動

- 辻倉 一喜 さん (西野学区)

### ●自治活動

- 柴田 和子 さん (大宅学区)
- 藤田 道治 さん (大宅学区)

## 団体

### ●美化活動

- 株式会社インサイトハウス (鏡山学区)
- 山階南リサイクル推進委員会 (山階南学区)
- 大塚学区保健環境協議会 (大塚学区)



6月13日、ひと・まち交流館京都で、平成30年度京都市市民憲章推進者表彰式典が行われました。市民憲章(昭和31年5月3日制定)を率先して実行し、毎年の推進テーマと実践目標に基づいて推進活動を行い、特に市民の模範と認められる方々を毎年表彰しています。山科区からは個人15名、3団体が門川市長から表彰を受けられました。

問合せ 区まちづくり推進担当(☎592-3088)

〈今年の推進テーマ〉  
明治150周年・歴史に学び未来を拓く  
〈進めよう市民が主役のまちづくり〉

## 地域消防最前線

### 花火遊びに注意!



花火の季節が到来!  
子供たちが花火によって、炎やライターをいつもより身近に感じてしまうこの時期、毎年、花火の不始末による火災や、ライター等による火遊び火災が発生しています。

花火遊びをする際には、次のポイントを守って火の用心をお願いします。

#### 安全な花火遊びのポイント

- 1 風の強い時は、しない。
- 2 周囲に燃えやすいものがない安全な場所。
- 3 子どもだけでなく、大人も一緒に。
- 4 説明書をよく読み、注意事項は守る。
- 5 水バケツを用意し、遊び終わった花火は必ず水につける。

問合せ 山科消防署(☎592-9755)

## 山科スポーツNEWS

### 第42回山科区民壮年ソフトボール大会

5月27日、第42回山科区民壮年ソフトボール大会を開催。区内全13学区の体育振興会チームが出場し陵ヶ岡体振チームが初優勝を成し遂げました。



陵ヶ岡体振チームは、山科区代表として7月22日(日)に岩倉東公園グラウンドで行われる京都市大会に出場されます。

- 優勝 陵ヶ岡体育振興会チーム
- 準優勝 音羽体育振興会チーム
- 三位 山階南体育振興会チーム
- 三位 大宅体育振興会チーム

### 第42回山科区民ソフトボール大会

第42回山科区民ソフトボール大会が6月24日に開催され、11学区の体育振興会チームによる白熱したゲームが展開されました。



優勝した百々体振チームは、7月22日(日)に岩倉東公園グラウンドで行われる京都市大会に山科区代表として出場されます。

- 優勝 百々体育振興会チーム
- 準優勝 小野体育振興会チーム
- 三位 大宅体育振興会チーム
- 三位 勸修体育振興会チーム

### 第42回山科区民バレーボールカーニバル

6月17日に「第42回山科区民バレーボールカーニバル」が開催されました。区内13学区から総勢21チームが出場し、熱戦が繰り広げられました。優秀チーム(グループ内2戦2勝)は以下のとおりです。

#### ●優秀チーム

- 山階体育振興会Aチーム
- 山階体育振興会Bチーム
- 鏡山体育振興会Aチーム
- 鏡山体育振興会Bチーム
- 山階南体育振興会Bチーム
- 百々体育振興会チーム
- 音羽川体育振興会Bチーム
- 西野体育振興会チーム



問合せ 区まちづくり推進担当(☎592-3088)



お茶の用意もその一環で、ほっとひと憩つこと心がほぐれ、会話のきっかけにもなります。同じくスタッフの小野学区民生児童委員の谷川真里さんは「中学生になると小学

運営スタッフの一人、勸修学区主任児童委員の池田美千子さんは「子どもたちとサポーターがうまく関係を持つようするのが私たちスタッフの役目です。」と言います。

サポーターになって3年目の京都府立医科大学の中岡千洋さんは「最初は緊張しましたが、気さくな子どもが多く、助けられています。子どもたちとしゃべるのは楽しいです。」と話してくれました。

発起人の一人で山科醍醐こどもひろばの上原裕介さんは「勉強の支援だけでなく、一人ひとりの言葉に耳を傾けることが大事です。子どもとどう接するかは大学生自身が悩みながら工夫し、本人の成長にもなっています。」と話します。「スクールソーシャルワーカーの仕事で教育現場に関わっていますが、中学校で地域住民や大学生が子どもたちを支える事例は少なく、この取組は貴重です。学校の先生とは異なる関わりのおかげで、新たな子どもたちの居場所となっています。」とのこと。

この活動は山科青少年活動センター、NPO法人山科醍醐こどもひろば、山科区社会福祉協議会が発起人となり勸修中学校と地域の理解・協力により実現し、今年で5年目を迎えました。

放課後、2時間ほどの間に、生徒たちは好きな時間に来て、自主学習をします。勉強のわからないところは、主に大学生のサポーターが相談のり、一緒に解いたり勉強方法をアドバイスしたりします。途中にはお茶の時間もあり、地域の方が用意する飲み物でひと憩つきます。参加する子どもたちからは「わからへん問題がわかるようになった」「大学の先生が話しやすい」「家ではサポーターしてしまうけど、こどもやる気が出る。」などの声を聞くことができました。

勸修中学校では、毎週1回地域の方や大学生が子どもたちの勉強を支援する「放課後学習会」が開かれています。

生の時よりも地域との距離感が遠くなりがちですが、ここで仲良くなった子は、町で出会うとも手を振ってくれます。」と、嬉しそうに話していました。地域のおっちゃん、おばちゃんにお世話になった思い出は、成長しても記憶に残るでしょう。まさに「地域の子どもを地域で育てる」ですね。

### 地域に支えられ実現 勸修中学校放課後学習会

### 第57回 みんなで「第2期山科区基本計画」に取り組もう! 区民活動きずなリレー

●勸修中学校放課後学習会に関する問合せ/山科醍醐こどもひろば(☎0077)

区総務・防災担当

(☎592-3088)